

2019年3月25日
山梨中銀経営コンサルティング株式会社

「山梨中銀地方創生ファンド」による投資案件を紹介します

～AIを使った企業業績予測サービスを提供する企業への投資～

「山梨中銀地方創生ファンド」（正式名称：山梨中銀地方創生投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、株式会社^{ゼノデータ} xenodata lab.（東京都渋谷区、代表取締役 関 洋二郎）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

1. 投資内容

- (1) 投資日 2019年3月25日
- (2) 投資形態 第三者割当増資の引受

2. 株式会社 xenodata lab.の概要

- (1) 設立年月 2016年2月
- (2) 資本金 760百万円（増資後、準備金含む）
- (3) 所在地 東京都渋谷区松涛一丁目29番1号渋谷 クロスロードビル5階
- (4) 代表者 関 洋二郎
- (5) 役職員数 18名
- (6) 事業内容 AIを使った個別企業業績予測ほか

同社は、経済ニュースや決算情報をAI（自然言語処理技術）で解析し、企業の業績への影響を予測するサービス「**xenoBrain**」（ゼノ・ブレイン）を開発し、金融機関、大手事業会社に提供しているベンチャー企業です。

「**xenoBrain**」は、ダウ・ジョーンズを始めとする過去10年分、30万本超の記事に含まれる過去の経済事象が企業に与える影響をAIが自動で分析し、業績予測を行うサービスです。

同社では、「経済ニュースの因果関係を可視化し、上場企業の決算短信や有価証券報告書の解析結果と組み合わせることで、経済にまつわる出来事があったとき、その前後にはどんな出来事が発生し、その結果として上場企業の業績がどのように変化するかを予測することが可能」との考えをもとにサービスの開発を開始しました。

これまで、上場企業の分析業務効率化などを目的として、大手金融機関を中心に10

社以上の企業に導入実績があります。

今後は今回調達した資金をもとに、「xenoBrain」の分析対象ニュースの大幅拡充やサプライチェーン分析といった機能開発を行い、一般の事業会社などを含む、より幅広いシーンでの企業分析・経済分析の業務効率化を実現していく予定です。

当ファンドでは、AIによるニュース分析から個別企業業績を予想する仕組みはこれまで有りそうでなかったもので、専門家の予想確度を上回るのであれば画期的なサービスであることに着目しました。また、「xenoBrain」は、事業性評価、市場運用といった業務にも親和性が高く、金融機関や一般事業会社にも広く利用される可能性が高いサービスと評価しております。

当ファンドでは、同社が提供している「xenoBrain」が、県内企業の業況分析や情報の提供を視野にいれていることから、今後の地域経済発展への貢献を勘案し、同社への投資を決定した。

同社の第三者割当増資の一部を引き受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は同社の成長発展に向けて積極的に各種ハンズオン支援を行ってまいります。

<当ファンドについて>

当ファンドは、山梨中央銀行グループの出資により設立した投資ファンドです。

地域の将来を担う事業者の育成を図ることで、地方創生を後押しすることを目的とし、投資先への資金供給だけでなく、山梨中央銀行グループが有する販路開拓や経営管理等の各種支援ノウハウを活用したハンズオン支援を併せて行うことにより、投資先の成長・発展や経営改善・事業再生等の効率的な支援を実施いたします。

以 上

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

山梨中銀経営コンサルティング株式会社 投資・M&A事業部（担当 山崎）

電話 03-3256-3121